



2007年10月作成（第1版）

貯 法：室温保存
使用期限：容器、外箱に表示
注 意：取扱い上の注意の項参照

日本標準商品分類番号
873319

	リン酸2カリウム注20mEqキット
承認番号	21900AMX01738
薬価収載	2007年12月
販売開始	2007年12月

補正用 0.5モル リン酸二カリウム液

処方せん医薬品^{注)}

リン酸2カリウム注20mEqキット「テルモ」

Dibasic Potassium Phosphate Injection 20mEq Kit

組成・性状

〈成分・分量〉

		1キット 20mL中
有効成分	リン酸二カリウム	1.74g

〈電解質量〉

		1キット 20mL中
電解質	K ⁺ Phosphate ²⁻	20mEq 20mEq

〈性状〉

性状	無色澄明の液である。
pH	8.6～9.3
浸透圧比	約4（生理食塩液に対する比）

■ 効能又は効果

電解質補液の電解質補正

■ 用法及び用量

本剤（1mEq/mL液）を電解質補液の電解質の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質液に添加して用いる。（「操作方法」の項参照）

■ 使用上の注意

1 重要な基本的注意

- 本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず希釈して使用すること。
- 30mEq/L以上の濃度では血管痛があらわれることがある。

2 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度については文献等を参考にした。

	頻度不明
急速投与による障害	テタニー症状 高カリウム血症

投与速度は20mEq/hrを超えないこと。

3 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4 適用上の注意

(1) 適用

本剤は、透析回路等の体外循環回路の高圧条件下で使用しないこと。

高圧条件下では押子を斜めに押すおそれがある。押子を斜めに押すとガスケットが変形し薬液及び血液がガスケットの部分から漏出するおそれがある。

(2) 調製方法

本剤は使用に際して、よく混合されるよう注意すること。

(3) 調製時

- カルシウムイオンと沈殿を生じるので、カルシウムを含む製剤を配合する場合は注意すること。

- マグネシウムイオンと沈殿を生じることがあるので、マグネシウムを含む製剤を配合する場合は注意すること。
- プリスター包装開封後は速やかに使用すること。

(4) 投与時

ゆっくり静脈内に点滴投与すること。

有効成分に関する理化学的知見

一般名：リン酸二カリウム

分子式：K₂HPO₄

分子量：174.18

性状：白色の結晶又は塊で、においはなく、味は辛い。水に極めて溶けやすく、エタノール(95)にほとんど溶けない。吸湿性である。

取扱い上の注意

- 必ず、専用針を用いて輸液剤に混ぜて使用すること。
- 本剤は輸液セットの三方活栓や側管（ト字管等）から直接静注しないこと。
- 本剤はシリンジポンプでは使用しないこと。
- プリスター包装は使用時まで開封しないこと。
- プリスター包装は開封口から静かに開けること。
- プリスター包装から取り出す際、押子を持って無理に引き出さないこと。ガスケットが変形し、薬液が漏出するおそれがある。
- シリンジ及び専用針が破損するおそれがあるため、強い衝撃を避けること。
- シリンジ及び専用針に破損等の異常が認められるときは使用しないこと。
- 内容液が漏れている場合や、内容液に混濁や浮遊物等の異常が認められるときは使用しないこと。
- 開封後の使用は1回限りとし、使用後の残液は容器とともに速やかに廃棄すること。
- 注入前後ともに押子を引かないこと。
- シリンジ及び専用針の再滅菌・再使用はしないこと。
- 専用針は針刺しに留意し、廃棄すること。

〈安定性試験〉

加速試験（40℃、相対湿度75%、6カ月）の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された¹⁾。

包装

20mL×10本

主要文献

- テルモ株式会社：PF-MX20P2Kの安定性試験（社内資料）

文献請求先

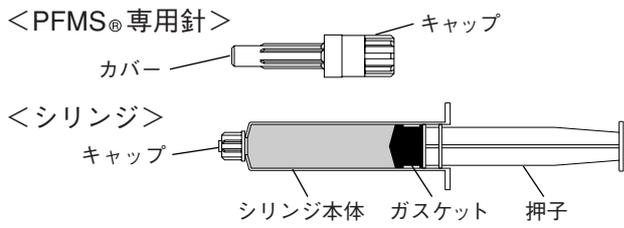
主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

テルモ株式会社 コールセンター
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号
TEL 0120-12-8195

注) 処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

操作方法

〈各部の名称〉



本品は、プレフィルドミックスシリンジ(医療機器届出番号：13B1X00101000008)に薬液を充填したものである。
 ※PFMS：プレフィルドミックスシリンジの略

<p>1</p>		<p>シリンジ本体、及びPFMS専用針のキャップを外す。</p>
<p>2</p>		<p>シリンジ本体に、PFMS専用針を装着後、カバーを外す。</p>
<p>3</p>		<p>輸液剤の混注口にまっすぐ穿刺する。</p> <p>注意：PFMS専用針を穿刺する際、針の途中で止めず根元まで穿刺し、注入孔を混注口内に確実に入れてから、薬液を注入すること。途中で止めると薬液が輸液剤内に注入されず外部へ漏れる。</p>
<p>4</p>		<p>薬液を注入する。</p>
<p>5</p>		<p>薬液注入後、シリンジ本体と共にPFMS専用針を抜く。</p>



製造販売元：テルモ株式会社
 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号